



## 品質カイゼン室の花のソコが知りたい！

*Zinnia elegans* Jacq.

# ジニア編

花壇を彩る花として、人気のある「ジニア」  
切り花としても初夏から晩秋まで出回り、お盆やお彼岸のお花として・・・  
近年では、おしゃれなアンティークカラーやナチュラルな草姿が人気で、  
ブライダルをはじめ多くのシーンで見かけるようになりました！



### ❖ジニアのポイント❖

- ❖ 高温期の栽培でも開花が早く、栽培期間が短い！
- ❖ 生育中は加湿に注意！水やりの時間が大切です！
- ❖ 花持ちのポイントは…？

### ◆基本DATA◆

キク科ジニア属

原産地：メキシコ

学名：*Zinnia elegans*



花壇でお馴染みの「百日草」は「ジニア」の和名です！

初夏から晩秋にかけ長いこと楽しめ、また花卉が丈夫でしおれにくく、  
夏の炎天下でも長く咲き続けることからその名が付けました。

切り花では学名の「ジニア」の名で、市場やお花屋さんで流通しています！



## ◆ジニアの歴史◆

1757年、中央メキシコでドイツの植物学者ヨハン・ゴットフリート・ツィン（Johann Gottfried Zinn）が野生のジニアを発見しました。

その後、あまり注目されることなく時間が経ち、1850年頃インドで八重咲きの変異が発見されたのを期に、ドイツやアメリカで巨大輪や数花色の八重咲きなど育種が進み、日本には江戸末期の1862年にアメリカから渡来しました。

❁ジニアの名前の由来は、植物学者ヨハン・ゴットフリート・ツィン（Johann Gottfried Zinn）の姓をリンネが英語読みをして名付けました。

## ◆栽培方法◆

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
一般地	露地	播種から1週間で発芽 3週間で定植											
	無加温												
	加温												

早切りは花首が折れやすくなってしまうので、花首が固くなった満開時に採花します！

発芽適温 } 25~30℃  
生育適温 }

※お盆の切り花利用では6月上旬、9月のお彼岸利用では7月上旬に播種

### ❁播種❁

発芽後は十分な日光を当て、風通しのよい場所で管理します。

日当たりが悪いと芽は日光を求めて長く伸びてしまいます。

### ❁育苗・生育期❁

◎水やりは萎れない程度に控えめにいき、徒長を防ぐため日中に水をやり、夕方水やりは控え、**加湿**にならないように注意！

→ 灰色カビ病・黒斑病・立枯病を誘発させてしまう。

！！注意する病気！！

こくはんびょう

**黒斑病**…葉に始め黒褐色～褐色の小斑点が現れ、やがて茎・花にも現れる。

どんな植物にも伝染する糸状菌《アルタナリア菌》  
⇒葉の表面、茎から侵入する。

\*菌の生育適温 26~28℃

(防除のポイント！)

発病した葉・花は取り除き、すぐに消毒を行う。

連作は避ける。土壌の排水を良くする。



たちがれびょう

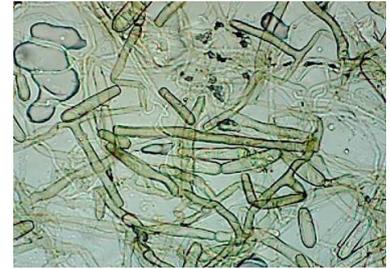
**立枯病**…地上部に養分や水分が行き渡らなくなり、葉が黄化・<sup>いちよう</sup>萎凋して立ち枯れる。

土壌中の有機物に寄生している糸状菌《リゾクトニア菌》  
⇒土壌中で菌糸が伸び、地際から侵入する。

\*菌の生育適温 20～25℃

(防除のポイント！)

土壌消毒の徹底。地際部中心に薬剤消毒を行う。



### ❖採花❖

一番花は草丈が低いので摘心し、2番枝から切り花として採花します。

また、花首が固くなった満開時が切り花として採花に適する時期です。

\*早く切ってしまうと花首が中空で折れやすくなってしまいます。



### ❖主な生産地❖

山形県 長野県 千葉県

5月の下旬から、千葉県を中心に出荷が始まり、

6月下旬より長野県、山形県と出荷が続きます。

11月頃までの出荷となっています。



## ❖ 品種 ❖

咲き方…大輪から小輪まで八重のポンポン咲きやカクタス咲きなど豊富。  
同じ品種でも、1つ1つの顔が違うのもジニアの魅力の一つです♪



ジャイアントミックス



バービーミックス



クイーンレッドライム

## ❖ 花持ちのPOINT ❖

花持ち…5~10日

水あげがやや悪く、茎が空洞のため上がりにくいことがあります。  
葉はある程度取り除き、浅水に生けるとよいそうです！



ポット苗でお馴染みのジニアですが、切り花での流通も増えてきています！  
さまざまな花姿や豊富なカラー、いろんなシーンで活躍すること間違いなしです！  
また、アンティークカラーは秋の雰囲気ぴったりですので、  
これからの季節まだまだ楽しめます（^^）

### <参考資料>

農山漁村分画協会 発行 「農業技術大系 花卉編 8」

央戸・長塩（2011）「花屋さんの花材が全てわかる アレンジ図鑑」株）世界文化社



株）大田花き  
品質カイゼン室

